

## 舞い散る



不知火舞

不知火流忍術を継承するくノ一で  
アンディ・ボガードの彼女である  
その舞がキングオブファイターズの  
大会中に皆の前から突然姿を消した  
必死の搜索も虚しく  
舞は見つかることはなかった

一ヶ月ほどたった頃

アンディの元に差出人不明の  
荷物が届いたのだ

中を開けてみると不知火舞と

ラベルの貼られた一枚のメモが入っていた

アンディは舞の手がかりか

何かだろうと思いきいで再生する

再生すると舞が行方不明になった日の大会の試合が映し出された舞はテレビの取材を受けているようだ

「あわやストレートで負けるかと思いましたがそこからまさかの舞さんの三人抜きの逆転勝利でしたね！」

「そんなの楽勝よーって言いたい所だけどさすがにきつかったわ」

「さすがに予選の準決勝まで来ると舞さんでもそうなるんですね」

「今立ってるのがやつとで必殺技なんて出したら死んじゃうレベルよ」

「強い人達がどんどん出て来てるからね」

「よろしければもう少し会場の奥にある特設スタジオで芸能人の方達を交えてのインタビューをしてもよろしいでしょうか？」

「うーんいいわよアンディが迎えに来る時間までならね」

映像は一旦ここで切れる

カット

うーん

おっ

おっ

おっ

場面が切り替わると  
試合後の疲れのせい  
か  
または何かをされたのか  
一人の男の成すがままに  
服を剥ぎ取られ  
裸にされていった

「いやああ！  
手を放さないよ！」

ぐ  
ぐ

「お前を犯したくて  
片目の男に大金をはたいて  
お前を拉致してもらったんだ！」

し  
ち  
ゅ

し  
ち  
ゅ

「生俺のチンポ奴隷として  
楽しませてくれよ！」

「嫌ああ！」

「アンディ助けてえええ！」

ぎ  
ゃ  
う  
う

「大人しくしろ！」

「お前はもう俺の所有物に  
なったんだ！」

「それに叫んでも誰も  
助けに来やしねえよ！」

「冗談じゃないわよ！  
なに勝手なことやって！」

「冗談じゃないわよ！  
なに勝手なことやって！」

ど  
ん

ど  
ん  
ど  
ん

ず

ち  
ゅ

ち  
ゅ

「んんんうう！」

「入って来くるう！」

「嫌ッ！嫌ああああ！」

最初は暴れて抵抗していたが  
次第に甘い声を上げ始めた  
男のチンポが相当いららしく  
自らも腰を振っている

「すごいわあ！」

子宮の奥まで奥まで  
来てるうっ！」

いぢ  
ぢぢ

いぢ  
ぢぢ

いぢ  
ぢぢ

「こんな入口の肉が  
硬いままなのか？」

いぢ  
ぢぢ

「アンディのは相当情けない  
糞チンポだったんだな  
俺が本当のチンポってのを  
マンコに教えてやるからな！」

「オラッ！オラッ！  
もつとよがれ！喘げや！」

「子宮口がチンポで  
ぎゅぼぎゅぼ突かれてるうっ！  
んひいいい！」

いぢ  
ぢぢ

「あひわあ！」

「こんな初めてえ！  
あひいいッん！」

いぢ  
ぢぢ

いぢ  
ぢぢ

いぢ  
ぢぢ

アンディが教えた女の悦びは  
いとも簡単に上書きされ  
深く鋭く膣肉に  
教えこまれていった

テレビの中の舞は  
アンディが一度も  
見たことがない顔で  
喘ぎ悶え快感に溺れていった

「ああこの牛乳から  
母乳を流させてえ！」

「あああんツッ！  
乳首ペロペロいいのお！  
好きなだけ吸つてえ！」

びるっ

ゆっゆ

かっん

びび  
びび

びび

びび

びび  
びび

「膣が大きいチンポで  
喜んでるううッ！」

ハア  
ハア

「これからは毎日  
俺のチンポで気持ちよく  
してやるからな！」

「あっ！あっ！  
あくううんん！」

ぎし  
ぎし

ぬぐ

ぬぐ

ぬぐ

「んははあああ！

子宮がバカになるまで  
毎日ハメ通して頂戴い！」

「あひい！あひいん！  
セックスがこんなに  
気持ちいいなんてえ！」

ゆっゆ  
ゆっゆ

リズムよく鳴り響く  
愛汁の音と嬌声も  
次第に速度を増し  
交尾も終わりを  
迎えようとしている

「おおっっっー！  
いくぞおー！  
中に出すぞおー！」

ポッ  
ポッ  
ポッ

みー  
みー  
みー

「はひひいっしー！  
妊娠しちゃうくらい  
中にいっぱい出してええ！」

ビュ  
ワ  
ワ

ト  
ン  
ン  
ン

ビ  
ュ  
ワ  
ワ

ポ  
ッ  
ポ  
ッ  
ポ  
ッ

「んあああああ！  
子宮で精子が弾けてるぅ！  
いくぅうううううっ！」

「まだ」んなもんで満足して  
もらっちゃ困るよ  
舞にはもっと女の悦びを  
知ってもらわないとなー！」

そう言ったものの  
肝心な舞は絶頂により  
気絶している  
だが男は構うことなく  
再び腰を振りはじめた  
動画はここで終わる

ド  
ン  
ン  
ン  
ン

ド  
ン  
ン  
ン  
ン

陵辱の限り尽くし  
舞を調教する動画は毎月  
アンディの元に送られた

「ううっ！舞…舞！  
どうしてこんな事に…」

「やつほーアンディ元気？  
見える？私の大きいポテ腹が？  
明日が予定日なのよ  
ようやくご主人様の赤ちゃんを  
産めるから私  
嬉しくてしようがないの」

「この先もいつぱいご主人様の  
赤ちゃん産んでいくから  
毎月送くる動画で  
私を見守ってね」

「あとアンディにどうしても  
言いたい事があったの…  
短小早漏セックス下手つて  
男として最低よ  
それじゃあねっ」



舞い散る  
BADEND

～ 奥付 ～

発行人：だらぶち堂  
だらぶち

印刷所：ねこのしっぽ 様

E-mail: [darabuch@qj9.so-net.ne.jp](mailto:darabuch@qj9.so-net.ne.jp)

U R L : <http://www016.upp.so-net.ne.jp/darabuchi/>

18歳未満は閲覧購入禁止